

- 問1 4世紀ごろから大和政権と密接な関係を築き、朝鮮半島の南西部に位置していた国を何といいますか。この国は、五経博士による儒教の伝達や、日本への仏教伝など、大陸文化を日本へ伝える窓口としての役割を果たしました。 (2020年 熊本県公立入試 類似)
1. 百濟 2. 新羅 3. 魏 4. 高句麗
- 問2 古墳時代、朝鮮半島から伝えられた技術を用いて作られた土器があります。斜面を利用した穴窯（あながま）の中で、1000度以上の高温で焼き締められた、灰色で硬質な特徴を持つ土器の名称を答えなさい。 (2021年 群馬県公立入試 類似)
1. 須恵器 2. 縄文土器 3. 土師器 4. 弥生土器
- 問3 古墳時代に、大山古墳（仁徳天皇陵）のような巨大な前方後円墳が築造された歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
1. 海外からの侵略を監視し、防衛するための軍事的な物見櫓や要塞として機能させるため。 2. 大規模な稲作の普及により余った土地を、洪水から守るための避難場所として整備するため。 3. 大陸から伝来した仏教の教えに基づき、故人を盛大に供養することで国家の安寧を祈願するため。 4. 大和政権（ヤマト王権）の王が、自らの強大な権威や動員できる労働力の大きさを各地の豪族に誇示するため。
- 問4 5世紀後半のヤマト王権の勢力範囲を知る手がかりとして、熊本県の江田船山古墳から出土した銀象嵌の銘文を持つ鉄刀があります。この鉄刀に記されている、当時の王権の中心人物を指す名称として正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)
1. ワカタケル大王 2. 聖徳太子 3. 卑弥呼 4. 志賀島の金印の主
- 問5 ヤマト王権が巨大な前方後円墳を築き、その周囲に武装した人物の像などの埴輪を並べたり、鉄剣に首長の称号を刻んだりした歴史的な背景として、最も適切なものはどれですか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 各地の豪族に対して、王権の強大な軍事力や政治的な支配力を示すため 2. 仏教を全国に広めるために、寺院の代わりとして巨大な墓を建立したため 3. 貴族による摂政・関白の政治を安定させるための儀式として行ったため 4. 大陸から伝わった稲作の技術を記念し、収穫を祝う祭祀の場とするため
- 問6 古墳時代、各地の有力者が巨大な墓を造りました。その中でも、上から見ると鍵穴のような独特の形（一方が四角形で、もう一方が円形）をした、日本独自の形式の古墳を何と呼びますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 装飾古墳 2. 方墳 3. 円墳 4. 前方後円墳
- 問7 古墳時代に、前方後円墳という特定の形式が日本各地の有力者の墓として採用されたことは、当時の政治状況においてどのようなことを意味していますか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
1. 大陸から伝来した仏教に基づき、全国一斉に寺院の建立が始まったこと 2. 各地の豪族が独自の宗教観に基づき、異なる形式の墓を競って造ったこと 3. 近畿地方のヤマト政権（大和朝廷）の影響力が各地に及んでいたこと 4. 狩猟・採集中心の生活から、稲作を中心とする社会へ移行し始めたこと
- 問8 古墳時代には、巨大な墳墓の周囲や頂上に、土で作られた焼き物が並べられました。これらには円筒形のもののほか、家、馬、あるいは武具を身につけた人物をかたどったものがありますが、これらを総称して何と呼びますか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 土偶 2. 埴輪 3. 銅鐸 4. 勾玉
- 問9 5世紀のヤマト王権の王たちが中国の皇帝に使節を送り、国内の支配権を認めさせていた時期の文化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 魔除けや安産を願う呪術的な道具として、土偶が盛んに作られて集落の近くに置かれた。 2. 古墳の頂上や周囲に埴輪が並べられ、王の権威の高さや葬儀の様子を表現した。 3. 仏教の伝来とともに、大規模な寺院の建立とともに数多くの仏像が安置された。 4. 稲作の豊作を祈るための祭礼の道具として、青銅で作られた銅鐸が用いられた。
- 問10 5世紀後半、現在の埼玉県にある稲荷山古墳と熊本県にある江田船山古墳から、金象嵌（きんぞうがん）で文字が刻まれた鉄剣や鉄刀が出土しました。これらの出土品に共通して刻まれていた人物の名と、そこから推測される当時のヤマト政権（大和政権）の状況として適切なものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 中大兄皇子の名が刻まれており、律令に基づいた地方支配が関東や九州まで及んでいたことがわかる。 2. ワカタケル大王の名が刻まれており、ヤマト政権の勢力が九州北部から関東地方まで及んでいたことがわかる。 3. 卑弥呼の名が刻まれており、邪馬台国の勢力が西日本から東日本一帯に広がっていたことがわかる。 4. 聖徳太子の名が刻まれており、天皇を中心とした中央集権体制が全国で完成していたことがわかる。
- 問11 5世紀ごろ、現在の大阪府や奈良県を中心とした勢力であるヤマト王権が、九州から関東地方に至る広い範囲に影響力を及ぼしていたことが、各地の出土品から判明しています。埼玉県にある稲荷山古墳から出土した鉄剣には、当時のヤマト王権の首長を指すどのような称号が刻まれていますか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
1. 天皇 2. 執権 3. 大王 4. 將軍
- 問12 古墳時代から飛鳥時代にかけて、大陸からの渡来人が伝えた新しい技術によって製作されるようになった「須恵器」について、その特徴や背景を説明したものとして最も適切なものを選択してください。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
1. 備中鍬や千歯扱きといった農具とともに、江戸時代の農業発展を支えるために開発された。 2. 野焼きという古い技法で焼成された、赤褐色で厚手の土器である。 3. 宋から輸入された銅銭を溶かし、金属加工の技術を応用して作られた器である。 4. 穴窯（あながま）を用いて高温で焼成された、硬質で灰色の土器である。
- 問13 大和政権の性格について、それ以前の弥生時代の社会状況と比較した説明として、最もふさわしいものはどれか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
1. 特定の女王がまじないなどの呪術的な力を用いて、各地の小国を完全に服従させ、争いを根絶した。 2. 近畿地方の豪族が中心となり、各地の有力な勢力と連合することで広域的な政治支配をめざした。 3. 銅鐸を用いた共通の祭祀を通じて、各地の小国が独立性を保ったまま、利害関係のない経済圏を築いた。 4. 大陸からの渡来人によってもたらされた仏教と文字を政治の基盤として、中央集権的な国家を完成させた。